

科目番号	科目名			英語名	
HE32013	生化学成分検査学実習			Practice of Clinical Biochemistry	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
2 年次	計 2 単位	秋学期 A, B C	月曜日	3～5 時限 3～4 時限	4B211
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）					
正田 純一（学系棟 860・91651・在室時） 中川 嘉（健康医科学イノベーション棟 703・3345, 91749・在室時） 吉田 文代（4B 棟 208・7995, 91344・在室時）					
学習目標					
血液試料に含まれる生化学成分を、それぞれの測定法に従い、分析する（臨床化学）。分析上の変動因子や生理的変動要因を考慮しながら、基準値等を用いて、分析結果を評価する。					
使用言語（ ☒ してください）： ☐ 日本語・ ☐ 英語・ ☒ バイリンガル					
1. (10/3) オリエンテーション、試料と試薬の調製 2. (10/17) 総タンパク質と血清アルブミン検査法 3. (10/24) タンパク分画検査法 4. (10/31) 非タンパク性窒素検査法 1：クレアチニンとクレアチニン・クリアランス 5. (11/8) (火) 非タンパク性窒素検査法 2：尿素窒素 6. (11/14) 非タンパク性窒素検査法 3：ビリルビン 7. (11/21) 脂質検査法 1：リポタンパク分画検査法 8. (12/5) 脂質検査法 2：総コレステロール、HDL-コレステロール、トリグリセリド 9. (12/19) 試料と試薬の調製 2 10. (12/26) 酵素検査法 1：ALP 11. (12/27) (火) 酵素検査法 2：AST 12. (1/17) (火) 酵素検査法 3：LD と LD アイソザイム 13. (1/23) 無機質検査法 1：カルシウムと無機リン T 14. (1/30) 無機質検査法 2：鉄と TIBC 15. (2/6) 実習試験 (2/13) 予備日					
単位取得要件	出席、レポート提出、試験における及第				
使用教科書・教材	生化学成分検査学実習書（オリジナル・24年度版） 教科書：臨床検査学講座／臨床化学検査学（医歯薬出版）				
成績評価	出席状況、レポート・口頭試問、期末試験（実技及び筆記）				
備考：					
臨床化学は実践の学問である。予習が大切で、微量検体で正確な検査結果を迅速に出せるよう、心がけて欲しい。 HE40043(国際医療科学主専攻)と同一					